

平成24年度
事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

財団法人三重北勢地域地場産業振興センター

目 次

- I 総括的概要 P. 1
- II 地場産業振興事業 P. 1～P. 10
- III ビジネスインキュベータ事業 P. 10～P. 11
- IV 施設提供事業 P. 11
- V 公益法人制度改革 P. 12

I 総括的概要

- 地場産業の活動拠点として、施設の効果的な運営と維持管理に努めた。
- 自主財源確保のため、施設使用料収入や販売手数料収入の増収に努めた。
 - ・名品館の運營業務については、じばさん市、感謝フェア、グランドセール等の開催や商品の品揃えの充実を図り、展示会への積極的な出展等により、地場産品の PR・普及、集客に努めた。また、昨年に引き続き、東日本大震災の被災地、八戸、盛岡、いわき、南会津の商品を販売し、支援を行った。

売上総額は 66,212,640 円で前年度比 98.9% (66,978,473 円) となった。全体ではマイナスとなり、復興支援の売上 23 年度 : 3,175,920 円が今年度 : 832,720 円と減になっており、マイナス 2,343,200 をセンターの全体ではカバーできなかった。
 - ・施設提供事業については、施設使用料収入は 52,562,701 円で前年度比 98.2% (53,503,393 円) と四日市税務署の「確定申告会場」の利用が定着してきているが、その分、大学入試の利用に施設の提供ができなかったこと、営業による利用が減ったことが影響した。
- 平成 14 年度から設置しているインキュベートルーム 7 室の維持管理に努めた。
- 軽食堂業務は、フォークローバー(株)に委託し施設利用者に飲食物を提供しているが、ここ 2 年ほどで経営状況は悪化している。
- 公益法人制度への対応については、平成 25 年 3 月 19 日付けで三重県知事より公益財団法人として認定を受けることができた。昭和 60 年 10 月 28 日「財団法人三重北勢地域地場産業振興センター」として発足し、昭和 62 年 8 月オープン以来、地域に根差した地場産業振興を行ってきた。平成 25 年 4 月 1 日よりスタートする「公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センター」においても、定款に定める「三重県北勢地域における地場産業の健全な育成及び発展を図ることによって、地域経済の活性化に貢献し、もって、地域住民の生活向上に寄与する。」という目的のもと、引き続き地域社会や地域産業発展のための事業を行う。

II 地場産業振興事業

地場産業振興事業として地場産品 PR 事業、人材養成事業、情報収集提供事業、相談指導事業を実施し、公益事業として取り組んだ。

1 地場産品 PR 事業

地場産品 PR 事業は、商品を購入してもらい、使用してもらうことにより、地場産品の良さを知ってもらうことが、公益目的事業であり、名品館の販売や展示会の開催、参加を通して、積極的に商品紹介を行い、地場産品の普及に努めた。

(1) 展示会の開催及び出展

三重県北勢地域の地場産品を広く PR し販路拡大を図るため、名古屋及び東京において展示・販売を行った。(名古屋金山総合駅は 4 回、東京は都庁、日本橋、新宿西口、東京ドームと 4 回出展した。)

<名古屋>

① 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘12 (part1) 新茶まつり

～伊勢の銘茶（新茶）を萬古で飲む～

会 期 平成24年5月5日（土）、6日（日）

会 場 金山総合駅イベント広場：17回目

来場者数 9,000人

出展者数 24ブース（1,800×900）

売 上 額 1,712,023円（前年度比82.0% 2,087,285円）

日程がゴールデンウィーク最終の土曜日・日曜日での開催となり、平日とは違う客層となったが、初日は晴れて、客が多く、2日目は雨が降り、行楽客が少なく、売上に影響した。

新茶が春先の冷え込みで収穫が遅れたため、「かぶせの新茶」の生産が本格的になっておらず、商品が少なかった。

新茶に合わせて、四日市萬古焼の急須もスペースを多くして「伊勢の銘茶を萬古急須で飲む」というキャッチコピーでPRに努めた。

② 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘12 (part2) 手延めんまつり

会 期 平成24年7月11日（水）、12日（木）

会 場 金山総合駅イベント広場：18回目

来場者数 9,000人

出展者数 24ブース（1,800×900）

売 上 額 1,694,153円（前年度比134.1% 1,263,161円）

梅雨の時期とあって、時折雨が降り、特に2日目は激しく降り、客足に影響した。

昨年の実績から、名古屋は素麺より冷麦が人気で、今回は冷麦を中心に品揃えし、冷麦20ケース（昨年は在庫数の関係で3ケース）、素麺10ケース（昨年5ケース）が完売に近い状況で、好評であった。

③ 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘12 (part3) 土鍋&菓子まつり

会 期 平成24年11月3日（土）、4日（日）

会 場 金山総合駅イベント広場：19回目

来場者数 10,000人

出展者数 24ブース（1,800×900）

売 上 額 2,312,790円（前年度比120.1% 1,926,000円）

季節に応じた四日市萬古焼の土鍋と秋の味覚の菓子をメインとした「土鍋&菓子まつり」をテーマに実施した。会場の予約が集中したため、希望の平日が取れず、土日の開催となった。土曜日は文化の日でボストン美術館目当てのお客さんや観光客が多く、これまでの平日の通勤客、駅周辺のお客さんとは違う客層で賑わった。少し寒さを感じる時もあったが、2日間ともに天候に恵まれ、売上が伸びた。

④三重県北勢地域の地場産品フェア（part4）新酒まつり

会 期 平成25年3月12日（火）、13日（水）

会 場 金山総合駅イベント広場：20回目

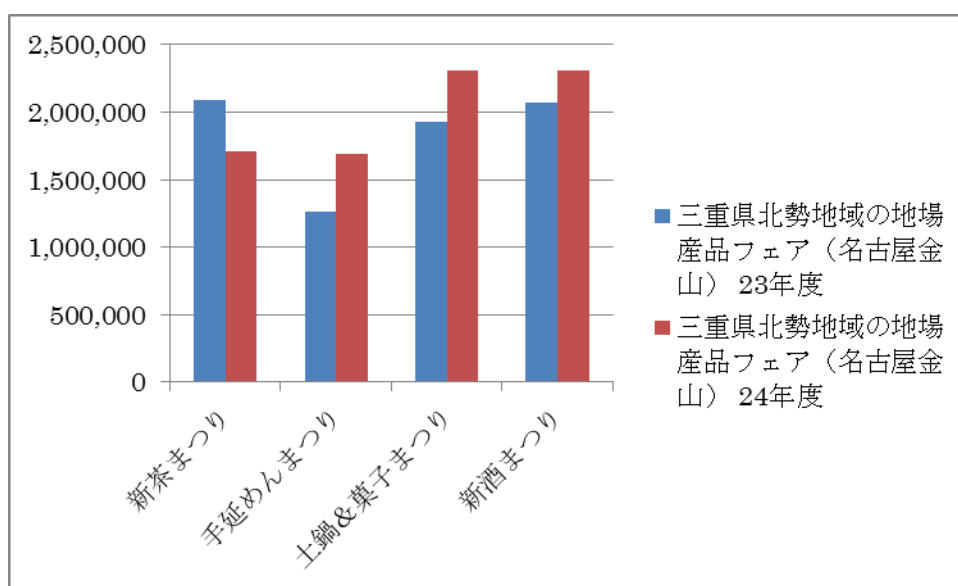
来場者数 10,000人

出展者数 24ブース（1,800×900）

売上額 2,313,650円（前年度比111.7% 2,070,475円）

今回は丸彦酒造、宮崎本店の2軒の蔵元が参加。好天に恵まれ、順調に売上を伸ばすことができ、十分なPRができた。

四日市商工会議所と連携してPRに努めており、金山総合駅の①～④の売上合計額は8,032,616円（昨年比109.3% 7,346,921円）となった。



名古屋金山(新茶まつり 5月)



(土鍋&菓子まつり 11月)

<東京>

① 「四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会 期 平成24年6月6日（水）～12日（火）（1週間）

会 場 東京都庁 全国観光PRコーナー

出展者数 5ブース

売上額 909,342円 (前年度比 110.8% 821,000円)

東京都庁は2回目、昨年の売れ筋、PRコーナー職員のアドバイスも取り入れ、どのようにすると地場産品PRが効果的に行えるか、十分な検討のもと、「夏の風物詩」をテーマとして、品揃えをして臨んだ。

四日市萬古焼(蚊遣り豚・お値打ち商品)、伊勢茶、ごま製品、田舎あられ、大矢知手延素麺・冷麦、なが餅、四日市銘菓等を出展し、PRを行い、都庁職員並びに展望台観光者に対しては、十分なPRができた。

② 四日市市・津市 観光と物産フェア」へ出展

会期 平成24年10月11日(木)、12日(金)

会場 日本橋イベントコーナー

出展者数 1テント

売上額 205,320円(昨年3日間 200,160円)

昨年3日間の実績を2日間で売上げることができた。販売は昼前後に集中するが、来客も多く、十分なPRができた。

③ 三重県北勢地域の 地場産品フェア ‘12

会期 平成24年10月25日(木)～27日(土)

会場 新宿西口イベント広場(正面A1コーナー)

来場者数 20,000人

出展者数 28ブース(1,500×900)

売上額 1,937,790円

(前年度比 83.5% 2,321,790円)

四日市商工会議所と共催で四日市萬古焼2社を含む計9社からと鈴鹿市物産協会や四日市名物・特産品等の出展があり、盛況であった。

今回、集客力の高い場所が3日間の内2日間使用できず、売上が伸びなかった。

次年度については、日程の調整を充分に行い、集客の多い場所を確保できる様、準備を進めたい。



新宿西口

④ ふるさと祭り東京

会期 平成25年1月12日(土)～20日(日)

会場 東京ドーム

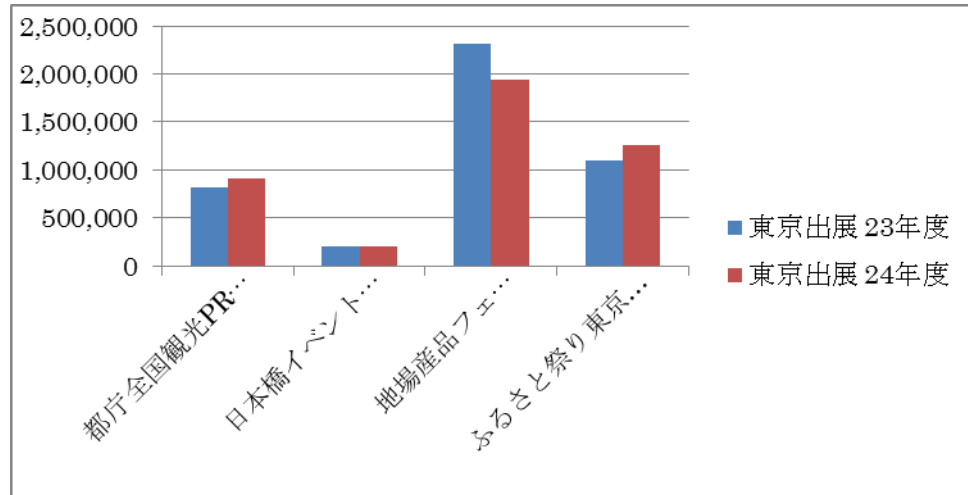
来場者数 379,095人(前年比 98.8% 383,584人)9日間

出展者数 2ブース(2,330×3,920×2ブース)

売上額 1,253,970円(前年比 113.6% 1,103,840円)

期間中、ペットボトル「泗水の里」、「伊勢茶」、「かぶせ茶」を追加も入れて320ケース7,680本(昨年4,600本)を販売し、「四日市市」「伊勢茶」

をPRし、完売した。「泗水の里」は320ケース中、114ケース(2,736本)を売上げた。継続的に出展したことにより、来場者から「泗水の里」、「伊勢茶」について関心を示され効果が表れていることを実感した。四日市市・ばんこの里会館と連携したことで、十分なPRができた。



<その他>

- ① モザイク銀座阪急 四日市市PRイベント (商品のみ出展)
 - 会 期 平成24年7月21日(土)
 - 会 場 モザイク銀座阪急(四日市市東京事務所)
 - 地場産品の「夏の風物詩」の展示
- ② デザインプラザHOFU じばさんフェア '12「全国うまいもの市」 (商品のみ出展)
 - 会 期 平成24年11月10日(土)、11日(日)
 - 会 場 (財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター及び隣接駐車場
 - 売上額 47,510円(前年度比93.0%)
- ③ 「東海やきのも産地展 in きなあた瑞浪」 (商品のみ出展)
 - 会 期 平成24年11月10日(土)、11日(日)
 - 会 場 きなあた瑞浪 多目的広場(萬古陶磁器卸商業協同組合)
 - 陶磁器以外の地場産品の販売・PR
- ④ ユートリー開館20周年記念「全国地場産フェア in 八戸」 (商品のみ出展)
 - 会 期 平成24年12月1日(土)、2日(日)
 - 会 場 (財)八戸地域地場産業振興センター
 - 売上額 72,900円

(2) 名品館事業

地域の地場産品について、品揃えの充実、リピーターの確保を図り、イベントの開催を通じて、積極的な商品紹介を行い、地域内外に向けて、不特定多数に幅広くPRを行った。

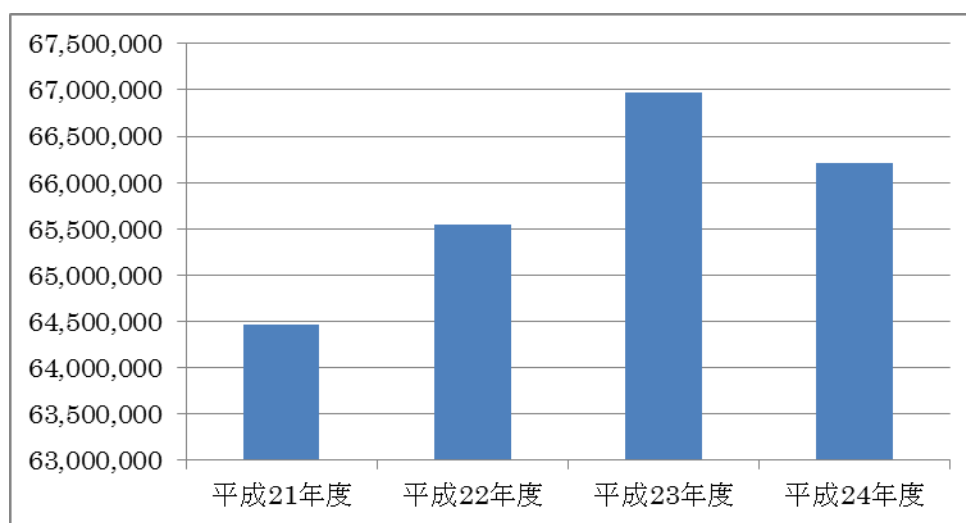
2月から3月にかけての税務署「確定申告会場」開設により、名品館が市民に認

知されてきたことから、今まで以上に集客ができ、売上の増につなげることができた。

また、震災以降、復興支援の販売を盛岡、八戸、いわき、南会津について実施し、被災地支援を行った。現在も継続している。

年間売上は 66,212,640 円で前年度を約 76 万円ほどマイナスとなった。被災地支援の売上が落ちたこと、大口注文が少なかったことが影響した。

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
64,456,757	65,547,986	66,978,473	66,212,640



主なイベントとしては、じばさん市の名称で季節ごとに年 8 回と 8 月に開館記念感謝セール、3 月にグランドセール等を開催し地場製品の PR を行った。

① じばさん市の開催 (8 回、延べ 56 日)

- 平成 24 年 5 月 3 日 (木・祝)、4 日 (金・祝) 「新茶フェア」
- 6 月 28 日 (木) ~ 7 月 4 日 (水) 「手延めんまつり」
- 7 月 27 日 (金) 「夏の菓子フェア」 四日市菓子組合
- 10 月 6 日 (土)、7 日 (日) 「鈴鹿の物産&ごま製品フェア」
- 11 月 17 日 (土) ~ 12 月 21 日 (金) 「歳末市・お歳暮フェア」
- 12 月 1 日 (土)、2 日 (日) 「うどん・きしめんまつり」
- 平成 25 年 1 月 4 日 (金) ~ 8 日 (火) 「新春福袋フェア」
- 1 月 27 日 (日) 「ザ・銘菓 匠の技と味まつり」 朝明菓子組合



じばさん市（手延めんまつり）



じばさん市（新春福袋フェア）

② 「開館記念 感謝フェア」の開催

平成24年7月27日（金）～8月2日（木）

地場産品の割引セールの実施

③ 「名品館グランドセール '13」の開催

平成25年3月2日（土）～10日（日） 工芸品2割引（食品1割引）

3月2日、3日、9日、10日 特別企画「春の都まんじゅうまつり」は
4日間で約1,000個を販売、「四日市名物・銘菓」であることをPRした。

④ 「確定申告会場に伴う出張販売 春のときめきフェア」の開催

平成25年2月12日（火）～3月15日（金）

確定申告来場者に対して特設コーナーを設けて、お値打ちセールを実施した。
出展者も多くなり、イベントとして定着し、売上も伸びてきた。

(3) 構成地域内での物産展等への参加（出展10回、延べ15日）

平成24年4月7日（土）、8日（日） 「第21回エキサイト四日市バザール2012」

会場：諏訪新道通り、沖ノ島交差点付近

4月14日（土） 「県民の日」記念事業 物産イベント

会場：三重県総合文化センター 中庭

5月12日（土）、13日（日） 「第51回萬古まつり」

会場：ばんこの里会館1階

5月19日（土）、20日（日）

「ライオンズクラブ地区年次大会におけるB級グルメ及び物産展」

会場：四日市市文化会館 中庭

8月17日（金）、18日（土）

「第8回サマーナイトフェスティバルGⅡ（東北地方物産展）」

会場：四日市競輪場 南入口付近

10月7日（日）

「第4回秋のばんこ祭り」

会場：ばんこの里会館1階

10月20日（土）、21日（日） 「第39回くわな商工まつり」

会場：サンファーレ西側1階歩道

10月21日(日) 「第1回全国ファミリー音楽コンクール」

会場：四日市市文化会館 2階ホワイエ

10月28日(日) 「2012四日市サイクル・スポーツフェスティバル」

会場：鈴鹿山麓リサーチパーク

12月2日(日) 「平成24年度東員町農業祭」

会場：東員町育苗研修交流施設前



萬古まつり



全国ファミリー音楽コンクール(文化会館)

(4) 地場産品交流事業

全国の地場産業振興センターと商品の交流を行い、相互のPR、販路開拓に努めている。(7センターの地場産品を展示・販売、特に今治のコットンマフラー、山梨のネクタイ、木曽の漆器は好評で売上は順調である。)

(5) 地場産業めぐり

構成地域内の地場産業(伝統産業)に関わる施設や製造企業を見学し、市民に地場産品への理解を深めていただくことを目的に実施した。

第1回～第4回で合計153名の参加(応募470名)があり、各コースとも好評であった。

① 第1回(四日市市、菰野町)

日時：平成24年7月18日(水)

参加数：37名

見学先：(有)四日市酪農 ー菰野ふるさと館ー四日市茶業センターー
ー八里屋菰野工場ー三鈴陶器

② 第2回(四日市市、鈴鹿市、亀山市)

日時：平成24年9月28日(金)

参加数：38名

見学先：カネスエ製麺所 ー関宿ー東海醸造株
ー鈴鹿市伝統産業会館ー神楽酒造株

③ 3回(桑名市、川越町)

日時：平成24年11月16日(金)



東海醸造株 味噌樽

参加数：39名

見学先：サンジルス醸造(株) 一輪中の郷 (株)小杉食品 一諸戸氏庭園
一 (資) 早川酒造部

④ 第4回 (四日市市、菰野町、いなべ市、)

日 時：平成25年3月14日 (木)

参加数：39名

見学先：指勘建具工芸 一いなべ市農業公園 一丸彦酒造(株)
一 (有)藤総製陶所、(株)南景製陶園

2 人材養成事業

(1) 地場産業経営支援セミナー

産地組合が抱える課題や業界の動向を踏まえ、支援策となる組合単位での講座を実施するべく、アンケートを行い、「店舗販売、接客対応等セミナー」の要望があったことから、名品館において開催した。

日 時：平成25年1月23日 (水) 18:00~20:00

場 所：じばさん三重1階名品館、5階研修室5

参加数：20名

演 題：「集客力の向上を目ざした ときめきの店舗&商品演出と魅せ方」

講 師：有限会社 ドミナント 児玉千恵子 (購買&販促プロデューサー)

研修内容：売場おこしの「テーマ設定」と魅せ方・見せ方

売上増につながった「店頭&店内」演出など

旬の色とギフトを販促につなげる手法

(2) 夏休み小学生じばさん講座

構成地域内の小学生高学年を対象に当地域の地場産業の歴史的発展や現状などを総合的に解説し、地域産業への認識を深めることを目的に体験も含め開催した。

① 夏休み小学生じばさん講座 上級コース (5、6年生対象)

日 時：平成24年8月1日 (水)、2日 (木) [2日間コース1回実施]

場 所：当センター 6階ホール、展示室

参加数：92名 (昨年116名)

実演者：萬古焼陶芸家 清水 潤氏、清水 潮氏

伊勢形紙 伝統工芸士 大杉 明氏、木村孝司氏

体 験：四日市萬古焼の器作り

電動ろくろ体験

伊勢形紙 色紙彫刻



萬古焼 (器作り)

② 夏休み小学生じばさん講座 初級コース（4年生対象）

日 時：平成24年7月26日（木）、27日（金）

〔半日コース2回実施〕

場 所：当センター 6階 ホール、展示室

参加数：193名（26日:100名、27日:93名）

（昨年218名）

実演者：萬古焼陶芸家：荻内善晴氏他3名

伊勢形紙：六谷博臣氏（26日）

木村孝司氏（27日）

体 験：四日市萬古焼絵付け、伊勢形紙しおり彫刻

伊勢形紙 しおり彫り



3 情報収集提供事業

(1) 各種情報図書の整備、新聞・機関誌からの情報収集

(2) インターネットによる情報提供

ホームページにより、名品館でのイベント(じばさん市・感謝セール・グランドセール等)、首都圏・中部圏等での展示・販売会の周知や出展のお知らせについて、積極的に情報を提供し、地場製品の普及・PRに努めた。

4 相談指導事業

地場産業界や中小企業者を対象に実施する各種相談等は四日市商工会議所への幹旋とした。なお、ベンチャー起業相談は三重県産業支援センターの協力のもと実施した。

Ⅲ ビジネスインキュベータ事業

新たな事業の創出や新技術・新商品の開発による新事業へ挑戦しようとする企業の支援を行った。

ルーム5の情報制御㈱、ルーム7のMAN STUDIOについては、期間延長の申出により1年間の延長している。

一昨年の東日本大震災以降、入居者が集まらない厳しい状況が続いている。数社の応募はあったが「入居資格」を満たさなかった。(入居審査委員会の開催なし)

なお、ルーム2、3については、空室であり、引続き募集を行っている。

ルーム1	Universal Sync	入居中
ルーム2		空 室
ルーム3		空 室
ルーム4	㈱H.R.D(Hungry. Rush. Design)	入居中
ルーム5	情報制御㈱	入居中 (26年3月末まで延長)

ルーム6 株環境思考

入居中

ルーム7 MAN STUDIO

入居中 (25年8月末まで延長)

○成果として、平成25年2月、「ルーム6環境思考」が低酸素社会実現への取り組みを顕彰する「カーボン・オフセット大賞」で、無料の資源回収場所「森のエコステーション」が最優秀の環境大臣賞に選ばれるという快挙を成し遂げている。

IV 施設提供事業

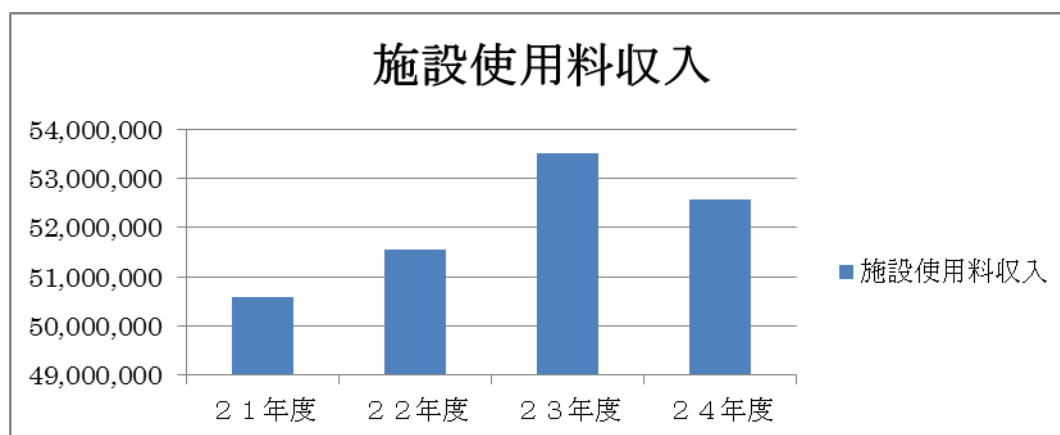
地域産業界及び地域住民に良質な会場を提供し、より多くの方にご利用いただけるよう努めた。なお、東日本大震災以降の雇用対策の一環としての職業訓練的なセミナーでの利用が増えてきている。また、大学の入試会場としての利用も多くなっている。

2月から3月中旬にかけて、四日市税務署の「確定申告会場」として公益目的利用として使用されている。また、昨年9月から3階に「一般社団法人四日市青色申告会」が入居、活動されており、来館者が徐々に増えており、センターの認知度がアップしている。

なお、施設使用料収入については、昨年度を約94万円ほど下回っているが、展示販売会（営業）での利用が減少したことが原因と思われる。

今後は、「公益・収益」の区別を明確にし、なおかつ収益の中での「営業・非営業」の区別も明確にし、施設使用料の増を図り、自主財源の確保に努める。

年度	施設使用料収入（円）
21年度	50,583,000
22年度	51,560,000
23年度	53,503,000
24年度	52,562,701



V 公益法人制度改革

(移行の経緯)

平成23年5月26日	理事会で公益財団法人への移行承認
平成23年6月17日	最初の評議員の選任に関する理事の定め承認
平成23年9月22日	理事会で評議員選定委員会設置運営規則の承認 理事会で評議員選定委員会委員の選任
平成23年12月26日	理事会で評議員選定委員会に推薦する最初の評議員候補者 (案)の同意 定款の変更(素案)の報告
平成24年3月27日	理事会で評議員選定委員会に推薦する最初の評議員候補者 (案)の承認 最初の理事・監事並びに代表理事及び業務執行理事候補者 の報告 定款の変更(案)の報告
平成24年4月27日	第1回評議員選定委員会において、最初の評議員の選出
平成24年5月28日	第1回理事会で最初の評議員の選任についての報告
平成24年6月28日	第2回理事会で「定款の変更の案」の策定 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規定」の制定 代表理事及び業務執行理事の選定 公益認定に係る申請書について報告
平成24年9月25日	移行認定申請書の提出
平成24年10月1日	審査開始
平成24年11月5日	補正・修正の提出
平成24年11月21日	三重県公益認定等審議会において、答申がでた。
平成25年3月19日	認定書 「平成25年9月25日付け申請に対し、一般社団法人及び一般財団法人する 法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う 関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号)第44条に規定に基 づき、別紙のと通りの公益財団法人として認定する。」旨、通知がでた。
平成25年3月26日	第4回評議員会において、理事(変更になった理事)の選任
平成25年3月27日	第4回理事会において、「最初の評議員候補者の推薦」
平成25年3月29日	第2回評議員選定委員会において、最初の評議員の選出
平成25年3月29日	平成25年4月1日付け移行による解散及び設立登記申請
平成25年4月1日	公益財団法人設立登記完了